

コード	10302
作成年度	21 年度

基本事業評価表

基本事業名称	安全で快適な道路整備
--------	------------

総合計画の位置付け	
政策名称	にぎわいを創る地域交流の促進
施策名称	しまを支える交通基盤づくり

課コード	118		関係課名										
主管課名	土木課												
基 本 事 業 の 目 的													
歩道の整備や交通安全施設の設置と共に道路の拡幅・舗装等の整備を行い安全な道路づくりにより便利で安全な住民生活と円滑な経済活動の確保や住民福祉の向上を図ることを目的とする。													
基 本 事 業 の 成 果													
成果指標名称 1			町道の改良率(1、2級)			成果指標名称 2		歩道整備延長(町道)					
成果指標の積算根拠			改良済道路延長÷道路総延長(1、2級)			成果指標の積算根拠		目標歩道整備延長					
目標達成年度			平成21年度			目標達成年度		平成21年度					
目標達成数値			76. 0%			目標達成数値		6,797m					
年 度				H17		H18		H19		H20		H21	
成 果 指標1	目標 A		単 位	%	66	68	71	74	76				
	実績 B			%	65	66	67	67					
	達成率 B/A			%	99.1	96.2	93.7	91.7					
成 果 指標2	目標 A		単 位	m	6,525	6,593	6,661	6,729	6,797				
	実績 B			m	6,457	6,620	6,794	6,794					
	達成率 B/A			%	99.0	100.4	102.0	101.0					
1次評価	現状		道路の改良においては、財源を確保しつつ計画的に実施している。しかしまだ未改良部分が多く、工事を行う上での用地等の取得に多額の経費がかかる。										
	課題		用地取得等に多額の経費がかかる。また、取得後の移転登記など難しいものが多い。また利用率、費用対効果が低い道路が多い。										
	改善		用地取得等がスムーズにいくものを計画的に整備していくと共に、利用率、費用対効果等を検討し、事業の中止や廃止、コスト削減等の合理化を図る。										
2次評価			道路整備においては、真に必要な道路整備を計画的に行うこと。事業を進めるにあたっては、費用対効果の検討は当然必要なものであるが、「福祉のまちづくり」を考慮した検討も合わせて行っていくこと。										
住民等の意見													
町の対応													

※2次評価の公表後に住民等の意見があった場合には、再度公表するものである。